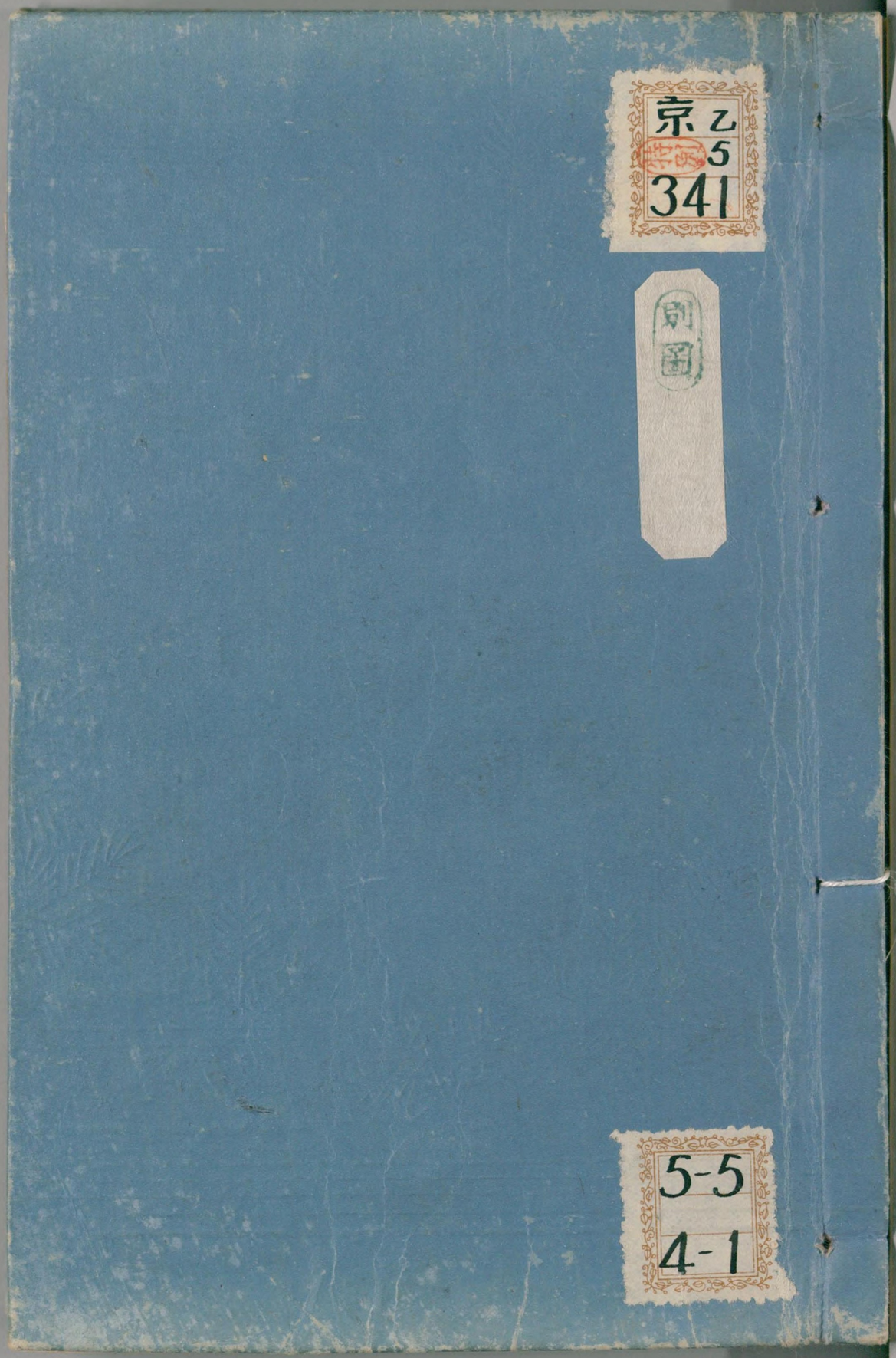
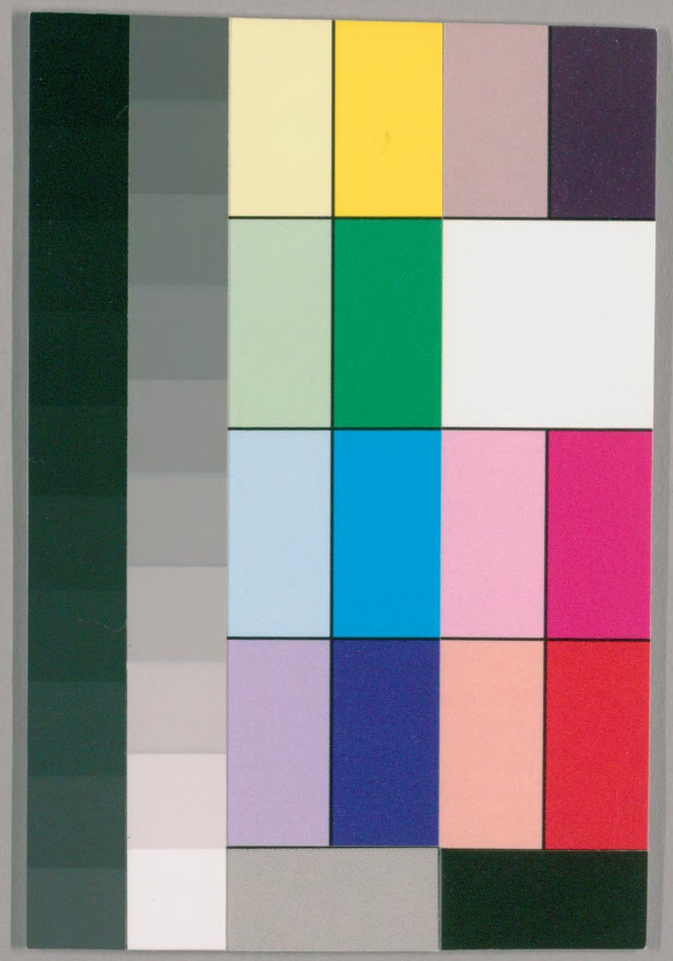

京乙5
341
別置
5-5
4-1



国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1

ガラス使用

肥前
長崎
勝比

金草鞋

中波文一九作
北尾重政画

お元
木林屋源兵衛

大正
3. 11. 5
購求

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1
ガラス使用

帝國圖書館

西國陸路金草鞋廿五編序

十返舍一九志

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1

ガラス使用

肥前
長崎
勝牝
梅ヶ浦の
風景
此所ハ
異国船
カ至て
海ゆき
連ねる
こと
数多
そ

壮観
そで
さうろ

千石積
神風ふ
帆を
なびかせて
たゝよふ
かゝふの
舩

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

大村

木曽の大村

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

塚崎温泉の夢

つくさ　とこちて三千丁
むらうめじがさうそう
こいんとところおまん
ぐるわりくちやや
ありてよきまち
おうてをぎて
きてこがさの走く
ろうそれようやが
むく千丁そうりき
てよまちようまあ
きんぐるやくつく
さろやもあってよき
まちありこのさき
むくのりくちみろ
あんどうありその
くものなあうこてを
まぎてそこのまあく
いそう

(祖)いそぐ　ヲハらきこも
つくさきさちいで
そやくもそまきてがこの走く

あくうくろこさるかまくて
ころがいろでとくこさるが
いるれさいてわりくきりとがそのめ

くこさるか小あんまうよう
みていろうひよろとそれでハ
ひよろくそれがこれ
まさあれまつめていろ
りよであろうそふまろく
あれのろようがうやしきう
そふおこよろいやくあっちこ
ろようとうんとかつてうるも
まれやうくきいてんがうかく
くこさるちくかまえこるこころの
いろでいるろうこく

「これうのいろでとを
ちさおしこれ二千みん
やこそんでんろい
くいちくおおくそれ
ありまちせもおまく
くれをようこをるされ
ごれくまろいうがまろ
くろで大あそこでやつき
がごえんくでこるがひくさくてくちが
大きくてのぐのまさまんこぶがうこう
までがうさがうてうるそんるおとこをコーハ
いろまろこおがそれるのふうとをきいて
ほろうくまで
ハイさろうるそんるうおまんでれるうこ

ごんるそうなへ
りくこうこそ
のるしてう
ませ
二そ
うるくふ
るとよふ

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

さかいでのことと
まちちややおわ
このさまきまろの
ちことといふもも
やありそれようもち
田まちをもぎて
つうそろのまち
このこころをそろる
まちしものの
おいのまち
ろうこと
きぼそまんまち
のとつくてあき
みのろもかー
ことろうさろ
の
うんざきごろう
おれさがごりうこ
おりこのさきうんざきの
まち
えんじゃうのところろうこれ
ようくるめのかじゃうろうへりあう

(狂)荷持してこさう肩もいき息
汗のまちちつとひと息
つうそろのやど

(狂)生酔のくりもかとこも

ろのうしあしこと
ひくうさ 酒の秒倍

引ハちんしゃうとまきうて
くちを出さうのごうくう
うくてもうちがるい
きさのようちハござ
おれもそのことをりくうあてが
うのごこのこちづれのうちで
これぞくうんうちのあるかの
あるうくうんとおりうてもも
ろうちよふつれてうれやう
さのむハく

引ハうちもある
せがうもある
きさるとうつれて
うてこれやまの
こうぐうこうちふ
あのうくきさるとうよ
ひよろとせがうとそれをぬを
まれやうとそれぐこてろ
づうひぐうぐもうこのこん
うちへつれてくること
ごめんざ

イヤそれおいうぐこうとのせがうと
ぬとまちやいるごろいこうとの
るちふこちぐろくふこれうやとんでいうで
あろうくうおいくとつれて△

ろうくうさよ
きうまん

いろさうる
そともも
わう
そん

サぐうがくん
やとまれてい
ろうとうる
ちのとうる
ちのこうる
ちのこうる
うちへつれて
かぐうる

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1
ガラス使用

それようそうそうのまちあきんど
さくやおかーこのあらごみくも
うちこてうのふ川あまさあう
田まろのあまさやどやちや
やあれーもちくの山
ぐうこひこさんへあく
こまわあうそれよう
あうさうむくりまる
ちむくちやあう
山ぐうちまくさんと
いうとまぎてやう
こちとのぐりぐう
おけべひびんとちく
ぜんのさうあうこと
とをぎそまくごの
あちくまいうきそ
やまあるかんくらやどふをまる
ちやん 年八歳
あきくも
かうあもふ
こえ 肥ふくれる
くう田まあくうる
こえ
このまくうれあ中きの
ゆうちうふうてあくふ
あくうくてあどのやうぎくう
あてくうると二百文でうのまくう

ごぜんさまおくうこうーまくうさ
あのおくうべけヤまをんとそのう
うくうへさけよざさうてよこう
ほうこがさごわりまあくごと
小こうやのやうんが大こうくう
さうこでござうまをうこよれ
ごんるふ大そざとうくこと
どざうりませぬ

かめざくうさやもこれそつう
いともまれまてりつこうつまくう
やくやさうのうれよもこれふ
あくうしいつうがくうをうけ
ひきそぐとえめてさやの
これえことかしてこうぐとう
ちくうのこととこれもうこること
まこまえろてえうれうのれるし
これでもよんしとこまき
うへうくのありあれ
たをさーうさうれそのも
さるとさきてまみ
のれせどうちくせ
ばこここころぞんそうう
のありくのわんちんへ
こまろこしきそまのうこ
るとやどふこまれて
いちうだうう
もまそてあしおかひ山
まうくこうみよこさくびう
二百でうつこまろくかのく
うちもてあいてりこくう
のまやくへこまつこよもこ
こらやのやくみんがそのう
くこうもかつてきてりよれ
あうくのまのくようぐんぐびう
まあくおろうみてこのおくうこと
さうこーまくうこあうやいこあとふ
さまのあうこちうさえれさあとふ
ごさうこうすーみこうぬんとふ

太宰府天満宮

ざざのふようくせそこよりろふせきやもろ
このところれひぜんひごきろまそのかろの
ようるちあとところふそこうまらのあがし
るどもてのかろみぎっくこべうう
とれいうくるらやのせきこあっしときき
そのせきのうのもこるとところるっと
まろのるこきあっところもるる
こちるてもきよう上こぶしろ
むくちやもかーとてこきぬ
うけてんじんのやろあう
かこぶろ一のせ川こるこふ
大まろ山つこがこひるどりふ
山こあるそれようざろーやうの
くるしのあるいろそれちゃ
やありくしてころうらのの人
やもむふようさけさるる
そのからいろくのまよう
かつとろうやくうづけ
くるとうつけ川ろんのかり
そろいこうつけそれよろむぎの
るどをもぎてこうこのるる
こふいうることのっところそん
ぎまうつのかるつきいろくの
こりやおわくうれざいく
まてこそうこのおびちを
おきのよあわ〜

とてふやうぎまちとそ
ろう女あうこのあこの
十又ふこのっところの
そうだふそこのぜふ
九百文うう

㊁ 猫ふの公の
そうこのまちろ
くくとう
ふまりよう
きこ
こうろと
うりり

㊂ ひあそ
ひてこうっとふ
ひそひうきひき
ぎうりんごんぶ〜
ようふさのこお
おくやいろく付
おくこれまでうび〜
ひてこうっとさ
ろうこのうへこうこ
さるみそもうくあん
こうろっとこれん
一九の口上さやう

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1

ガラス使用

だんごようりやくおうのはじやうでまで
すてうりあまうつまちつぎうり
てとりつれべまつのるこまさあう
そうつりとりのぜんそうのえてう
ありうきのまうそうしうこまぎて
えこざきのまうくみいうるまちの
中わどよハまんぞうありそんよう
そうべよもれバーめんのまうでや
きれいるうこのしところそこざうきこと
るうちとりくとそるもこざうきこと
あとやぎしるのおいごのひろせとりんん
よう十丁おまうりういちくさーりで
うまうそうそうまうびてそのりき
りんうるるーこれようそうむそうえて
むうまもそうるどりくとそぎてあとを
やぎの志ろくうう

(和)宮張やかとこのみことを
あけがこの
りーきぞまそう
うこの中を

きよやんりーいゆんそうとよくそろくはき
そうとえそかうつこころがこれバき
さるみいらいやんの四月までのおやうぎ
四月のるうびろれ志ゆよちがりれるい
う

おうろいこととやうりいよこととてそうりよ
もうがよいといふうこうりこそもの志ゆ
わのるーるもりれさのーんでおのふとお
うりつてそれうこきかのもまよどうぐも
うてうりうのんぐりあそびみも
もりけてくびのまりりやがまうきえも
できとうりかまんでもよいとりの
四月ふるうてりのおやうくとまつて
りそもらちがあうぎこれいまされ
うまーりやえやくおふいいもりつ
てもいつこうまるぎ四月もそや
るうちぎまきてまるやゆへまのろ
きんハせがるれりくみことれるうぞ
まうこがるくてうけおちとりけ
ますーこがろようもるーりうもの
こととそやくぐぞおふいい
おりつてもけつくとびへせうけ
うちびやうのせんきもうつてやいるく
いうろうてうまやはうつんうつくれ
どそうまもぬ

それハおきこのぞくることぐ
りてうれまこうろのせがうがう
やきうちやきでこうーがわうで
いろごとーこととそうーと
うところをとりはまそうう
うちみりてそうところされやうよう

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

あとやぎさよう
二十てそうぢう
やけべむしろうち
むしろの山ぐちみうち
でーの川あるとうち
ひらそうぢんのそこ
いくるやうこ
さろいのまる
うさとみやとあり
むしろこでありうこ
このあうようぢそうい
去うのまるあいのーるるど
そるうふひとくう

ゆべらいむしがかぢってそうの
うちがひうそうるやうみ
くるーろくもやをうさこがひめ
のせいうってみさおまてこれが
ちんのとーもうい

そんそうまそうづのさうを
のがうくぐうてこ十丁ぢう
もけべ あせまちのまめく
るうやどやちやおうまめく
とまるれてまうこまそうこのさう
とのがうもけべ山ぐちむうでれ
ようるわう山あてそのあらぢを
ゆくこちろれ あーうーぢをやきとう

㊁ あいそうのようさやぢ
さうべ田もやろあぜまちの
まめく

えーあおさんとのあうようまわうまや
びそうぢいうそれもうーがこのさうの
ひようとるれーれるとこまるうーうぢ
ぢでうのうちべさるうーい
そんるーこのさきふぢけ
もの出るおきさでうが
あるうーそこへいうて
こまうるさの

いやでけもの出るーこころくこまるて
くんころさんやうようんひういい
あんるのあうころちくこまろてあれう
れるあうがちつーれまでおろう
うーそれるいこそう

いやぢうさんざ
いろきちがーぐーそうる

おらーんいろきちがひ
よさうよが

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1
ガラス使用

それよりまつすぐにまちとりいでをもぎてこゑ田
むらよりあるのそまこうとのきぬくのあびきまき
まさかりんとらりまつこゑる

(往)あびきまゑふとるうりてみれば
やきうりの
おうま
朝も赤ろの
まゐくふてそ
あまき

といでつまさきあがりゆけばよりてあれうざうのまにさてろふれもなるとごりひがしくでてかうしとあうそれようえびてもむくまきまちとうちをぎてきゑせ川
しうず大川あうある

こてこーきゑせきゑ
くふりうる

「ゐんとべくないえどうりひさしぶりでくふすくうくるとうでうさごふれくのせがうこびどもがこびのとまちうくてあるのでありうもでさまゑやうふくふくふく

きやせのいろくちよひやうづどスしておるぐべとのおいこけのうこのさきさふぐってでありこってあちろこりりのさうのあり
ちやのそろとらさとさそぎそて上下のいざうむそれよううんのそろちややおりそのつぎ
くろさきのろきうりちややろことやかわくとれようまどむくんのさきよむくでんくおぜんのさういありこれようういちりぐりやきてくびむくこれそやこくのくろうりあろちうのまちとさてぜうけのありんふりりたおやうりむろ町一丁めのくそやらさくくようへやぐふさまる

程よそこぐのまかそそこのいとそろの日の
小くつのまちで
ここそよぎろ
ろんとまでぐのきさそのの

おんさいろこそうくぐ
あのとれろくあくりうういさぐ
めてるんとうれんこうがあるで
あろう

さうでぐそうはを
なそういまやうのうう
こさろいるとそろふ
いやいまでできろ
おそをぐかとれうん
のろふがくとて
ぜやうのひとさ
ぐもつうせこ
みくんのまそ
ふあやぐられ
はんぐもつのろくんあそその
せがれでぐそう
まそころくやう
ぐんるとのせまそて
むまのくちこそろそ
おかきろがくも
けつてあぐんいろふ
ませぬかりるあろ
てぐんるのかぐあろ
ろうぜまかのぐあろ
ておようぐさきれそれこそ
ろてこそくらちむんがけふ△

△ろうとをおさよろうてみげぐまそ

おまへぐられ
ひろうくみげろとこそがあ
あのろおてがよろやうくぐ
ろくらちろ
もあげませぬ

おらくるもろうぐん

あらてがそぐそ
びやくあんきてもうなろ
あれもみげる

きやくれふ
もあれろうぐろうぐ

こてつをいでくるぐるぐるぐ

下の関の稲荷町

下のせきの中よせまちと
いふうまちしゝむうれ
このしゝころのゆふせ
どもまだおいきろう
ぐんでてきろくと
ろぐさめしゝとい
まだいちざの
おくいきんえお
ろう〳〵がいまれうて
そのてろ〳〵と
ゆふせのおくに三ざんよ
ごろうのおげざのぞうようしも
ざいまやれそろぞうようこそも
かくろうゆよせのやく
さぬちりんのこぐび
りちうけときろう

ふかつてこと
已まそれて
てふりろう
まちち
すこむろさんれて
あそぶかろく

(担)いくこう鳥居
こしろう女きろくみ
とがろくこんて
いろう町客

あろうきろう
ろうそれろ
ぐろうてんや
そやうあ
ちろくいて
あやまこと
ろきれ
そろさ
まろて
ろの

そうで
あろう〳〵
そろうやが
おれの
くわと
こそれ
あまく〳〵
てんる
ふれいま
ろおとこ
じゃ
ふれど
こ〳〵これ
とおんと

あれひしむ〳〵のさだとまろ
ぜろうやさろぐだてる
とのいろうまちのきろ
わやろくろこりろ〳〵
てところとろ〳〵これまろうぞいが
ろやまろうぐろ〳〵こ〳〵がてろうろう
ろろうふろとこめそいろくろきつの
ろがろうところをしろれろんと
つよろろ〳〵

いろうまちのうと
ろ〳〵なまろうろ〳〵めつきろうまよ
きろうめろうまろうまよろいろくろぜま
くろうこ〳〵でんく〳〵ろでんのか
ろんまろよろうの木まぐ
ろこそのさんがくつる
んまいろうきゃう
わどきのろんく〳〵いと
まろうてろう〳〵ぬよそのう
うろうてこちのろうこそれが
うそがもろうとをこれが
ひきこうとあきろるきろやく〳〵ると
ありやこうちみてみようふこと
とがでけこまよんがいろ
こことろ〳〵ぐやごさりやや
つけぞふよがりやや
ういのふきろ〳〵ろんきうろれぬおいろうさ
おんまひ ぐやこんとこくこんとこうろいく〳〵

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1

ガラス使用

それよろれんげーさうのそうげをうちこーみくざむ〜いーぜそこむ〜七日市をもぎそ
日日そこちよううひろせ川とおなをそこうあさの市のそをこみつくそれようあんさこちやや
あうりきむこそをぎそ
ある日ぎのまをくふいうひごやそうぎえんとこのところ
いつんみてやどやちやや
きんぐとうらるおかくとこよ
さぐとうらるおかく
のちいーぎのとやく
ころまこおかく
このやどやろてきれの
てあっどのもそる〜
んせうるり
ふうんのもよ〜田と
さをぎて川もまこ
あさの市とて
かとこと
ころるる

せんねんまーがまん
まろうのこやーろく
りそところへいつさ
とき

やどのてい
ふふるんあうようう
ごーぜうをとかーひ
まーこのんい
山でうるそこ
しやうれ●めづく
ちうごでうまを
あもきこうあげ
ませうとらへ
それよろうとへ
らんしやげそのも
ごーぜうとこそ
ふうかてさけを
山よろうそれを
ごうるふのこるげく
そろとこーがこもの
そこのそるしふ
そのこーこ
ごーぜうくさんせうを
くろんくろうるとよろろ
とでいろとをまう
うぢろてやうおさとひかの
おろくるされとうへ
そんるるくちみろうそのと
くさとひかのおこんとろげ
ごーぜうのくちくれとろげふ
さんせうとひとつづくうへさせておつさ
ふうろうさ

おきふいろうとものへ
るんるうおろくるされ
ませべろふかあいへ
いさぐきませめ

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1

ガラス使用

それよりようよう
きさむらとうちをぎてやさまさ川
みのをこうるそのつぎみうまち
むらをぎてをくれ川あう
これよりやまるの名くみ
いうやがてこうこまろしという
ところるがしをこうのさ
くいうりひがしをこうのさ
くふようきごりふしん
ぶうしのくふあつさごりうこの
へんいしぶうこうあて
おやこうぐこをこしの
こうげとをうてとうむう
ちやりつんあうこのさ
きうばん市むうまんがい
むうしらをうちをぎ
てこぶりうの名くこの
ところのみくしるやせい
ぜうとういふこまる

㊁そをくふところの
くせのうくしるや
のこうさむさふ
ふるの名くう

これよう山こちさへ市むうこ
ぶうむうてふこりうさくのいう

ふそのうちぜ
ぶうふそるう
てうこうてそげ
てうこうて
とのしとう
くぶうそのまを
いまでれくさが
るくてあさまを
そぐしでおうこのて
いうこうてうつけ
れてあつうつこが
このそるをのうさで
ふきこふくをと
くるくいう
おのさ

そうひがしさんぜうり
ゆんようきごりうしげ
おうこれようこうげを
うちこうてさのむうさぜ川
ふこうこうこーこんぞうをたる
このふおうくてこれことや市の
名くふいうくてこれことふ
そこでやあうくそんぜうの
名くうう

これぞうこうにふられて
あーがいうう名あてこで
ぞうりとうこがるうこのあこ
でもてうふくこぞうりふ
ちんくそをこがまげて
あうこうまさそれうとうのの
のごがそのうちまげこともうる
ふまでおつこがまげこれこうる
そうとがまげてれるくうことくが
くうてりうこれおういそるこのるい
けことをどふーてそくのどの

ゆやあまえつまうねこことふ
げこれげこでうてそるとれ
まこべうふうてそれを
まげてまくのさ

うるゆどそれでこうこ
こうーがこのうぶつてのうさこ
とそのうちでうこがこのうさ
みもそるとがまげてうこうこ△

ちとやそんでいうふ
ぜんどん
ざんぶと
ぞのちがうまさき

自是東 都濃郡
自是西 佐波郡

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

それようこそこちへきてこしかけなさいまし
あついうさの八まんこうおろごしとりあつてろ
ろうとうくうくそろ市ごもくしいそを
いろさてきてもるおろの書くみ
までいちろうろう

画のどうさまうれ
いでようの芸のうび
今とさうの
芸名の宿

これくぎよまち
とうまうこれろうのてを
ひきこんぐくのうちく
あつてのこてうごうろう
うろうんくこよういちや
のあるさけんごんど

イヤそんなことをいわずに
まあせめあるようがよいおしと
どこまでもこーのうろうろあね
うひやまでもれどそのおろか
でれさろそくふあつくんでできます
せめる

まるおろうといでくりさてうのさうとまぎてくぶらちの書くうろうこれようまうきのうきうきさうきやまうこれろうのうちうちのぶりくうてそうげうちのまるくちやや
おうことのところろこうりさうのありひげんうるげごうりうろうくうとてうろ

(狂)
そんじゃうい
あいかろうろ
もとふくの
ろうべそふあろ
くる市のまるく

大じるの
うそときそせのようとろ
さびんごとてとこそうれまる
ヒやうイヤとてふやもそんでいう
これくきさるれいまうこのこと
ろでぐんごとかさくろてそのこ
ぜみとおうぞまでぐろくと十かんご
よとさこれ
うんあそろくそれきのぶるロ

ロそれ十ん
かそごれ
これおせと
おるりまうと

これくいるの
ぶんごのぜふれ
そろつこがまこと
このちやぶれ
とおろさよ
いろまる

イヤそれへまさ
さまろうちや
やへりつてろく
そろしまませう
ぬくうぎるのぐく
さまのちやふ
まろてりろうく
ころまそて
ろさうませ

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

それよく大川むらくろまむら
みるいちもんもそさそさそさそさそ
くろうよびさ
うのまるくるいろことのと
ころあきん
どあやくそこ
ちやおあ
ごやくそこ
てをみが
そくろむら
のさきいろ
ゆの毒くろう
これよろうまで山
こちみてそうげ
あり

(恒)えびくをまるく
まできの
おうふまつこ
やまでこ
るさんと
ようびさうの
ちや屋

「ゐみさへとひつこ
そてようさそうる
りのごこのさるれ
おむまやうりちハ
へこきしとうろ
くろゐんでる
やりうりちハ

(狂)奴凧あがうふ
つりそ青物の
そうげ

「ホウ〳〵
こまこよるて
そうちころいあん
ゐハろこようぜ
ともよろいぞもんる
ぜもがあうろ
ごく〳〵ひきくろこよれ
こよろねとよころつこ
そんりそでもこ

「サアサ
いようこそれ
ろさ
こせ

(狂)ひるどろう
そんみれおくまひ
ろいろの
ロ

「このまくろ〳〵ごうちろうでこの
やうふおおこまうさろのおこそうみ
ゐきあおそ志ろこゐ〳〵ふまさる
つくごうてんてりゐこと
おさるきのきやうれつが
ごんごこそうてこのさ
まのおろごこそうるとき
つりうり〳〵ゆうう〳〵
えきろへをひつこかの
ごろうまゐきみおさふ
らひまろうが口〳〵と
そこてかのれやこぐき
ものおろどさきでゐぜ
てろかうとまるー〳〵こと
あろまおろうりやー〳〵
てろかうりごごうま
せぬへをひつこのので
ごこうまそこらんと
へみてもまつれのまん
ぐんこんみちりゐして
まるろるてろごさき
でへとひるろ〳〵ひそうみ
あこのせめやうみいろそム

ふう出て志の
ゐゐゐ姉

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

それよりうを川むらをとって
づのさうをのぼりくだりつくして
こころまちのまめくるつくこの
とことにいでゝ志ばくるつゝ川あり
くづのあやべまちひきつゞき
くづのうらとうまめくるうり
まこあやべのまんまちといふあり
このゆんでうくまんまちといふつき
ぐりうもむまつぎのやくとうをそ
このあうもりんのちゝえかうらぶさ
めいがつうり

(注)妻恋のいう綾瀬のまちつゞき
えや清うる
雪のうち哉

けさうらの
てうづをつかふ
そでもいぶ
そのくゞりをと
とゝくうり
久米めがふる
ごろうとおかひき
まうさ

あやべ

あるけがよの
うらの雨で
あるくゞりの
うりうりの
うりぐを
三そく
きまうと
うり
あや
まる
うりへきの

イヤそんなうるさまちつれねこの
あめうらごろねこ
ろのうりのこや
れねづこがうん
さんであるふ
こまうりまとう
うごふでも
まえまてれづこ
をとうてうこうう
ませぬう

イヤくうりれ
ねづこをする
ことしてきま
せめおそのう
うりねばをよ
ろることしん
ろんでも
よくこうう
まを
のさ

そうでもあろうけさうらごふ
のうつめふうう
そとでうりこ
のまうれわのぶ
うるりとう
あくまとうと
ムものれ
あうそれぬ
あのご

うつことうとうがうりみまうて

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1

ガラス使用

岩国錦帯橋

それようあせむう
あきをこそうのさう
うう あせ川うの あそ
こそれがあきの ふ
るろうぐうくまで山
さろうそちとのおう
くぐうしておがこまち
あきんどおろうくそっと
どやもあうことのところ
ようこそやしおうそのかう
ふくへこそうびんせんあう
あんこそうれ山まゆあり
まろわひのこまこれこのもる
てをもまてくそのまくく
ふいうるそれようるどむう
まてとさろうこそうとあくま
こやしまめのまさふえく
ようけいきさろとおう
てえのむうことのこち
ハさろうくてうんぎなろう
こやろうちむうとまぎて
そうどまろうそれよう山の
生さまこまろうて廿日市
のまくうう

雨こそや秋の風の
うちはそりるまを
四十八瀬

ふうくうこうがやんどろうしてやむをあがのごとそつれてあけてくれ
…とうたうよんとところるく
つれて生さこところがごうちう
せをつれてれまこくふとろづくひ
でよいくろうとかとめることよう
むろくふわくれわわどふかわひ
まくとところがそのむをみが
まこあのやどのあくとくいろのまふ
やこくらへてこうくとそてそのま
あくとこふけてまれまいまうこうう
れうれーやとれでふろうがうこそろくこと
ありつくこそろめふべのやどでいんぐんと
そのむをとめがまさこまうあれせて
ろうくいふれおまえよくろうをさせ
まのとわうふもくことをこうらへてふけさ
こころがんそのあくとこふをてうれ
まくこうくまうよおまくのあとこと
ありてきまうくよいろのとれうくうまさ
あくこのくやまうをとうふうりやうもう
いれれぎまうこのやうふつれて出うけ
まうくさがむをとめくいれるをうでこれ
こくこ二十ほよるまでこうれもていふ
るうてのるのわどのうこよあうくうとい
おわうてもうないれる。△

△そうごうろうこくこくこく

それよりみぎ市もろこの〳〵いろ〳〵でゞろ〳〵のこのさきうみ
こちら山もみわたしもまわりのこころもとこわひのくちもむ〳〵ろこそ
いのくちもむ〳〵ろこそまちうどいふあそこ
みうよきまつのこゝあまこゝ
まつまへこゝちややおう
やぢでひろ〳〵のはしやうみ
ひろこそとうきそばこのきとるべ
そんじやうりやうどう泡さうの町
ほそめあまざかやどいろうてよう

ぜんごをまろめる

そのうちあの

さうぐよいろ

ゆでてしまふ

ぜんごのやうみまろめるでおろう

ぜんごよろ〳〵やきかちやきうんとやきまそ

(注) おう神んのあまさのまとそで
もとうるれ
人のとろ〳〵
ひろ〳〵るれば

これよりみぎ市もろこの〳〵いろ〳〵でゞろ〳〵のこのさきうみ
こちら山もみわたしもまわりのこころもとこわひのくちもむ〳〵ろこそ
いのくちもむ〳〵ろこそまちうどいふあそこ
みうよきまつのこゝあまこゝ
まつまへこゝちややおう
やぢでひろ〳〵のはしやうみ
ひろこそとうきそばこのきとるべ
そんじやうりやうどう泡さうの町
ほそめあまざかやどいろうてよう

(注) おう神んのあまさのまとそで
もとうるれ
人のとろ〳〵
ひろ〳〵るれば

ひろあるをいそぐ
さ〳〵川をわたりうど
そうもう〳〵いつもまるる
ちやや〳〵あつい山
おうてもりうきの
あつまう〳〵そう
それよろうやもう
うこのとう〳〵
そのまうべとまりてうのご
いちのまち〳〵みうる

七

(注)このうよきでできあき
びしの〳〵これでござ
うろうぶ市そのみぎりひ

おしよのうてなでまぐろのさ〳〵でさけをのん
どがそのちややぶんまうてこまあつて
いろ〳〵といつこのまぎれふのこゝふげをして

ロざくろうろうこれるいとおうてうちのやつこうぶまる

しおあうる

それぶみうくと

ロやろうかんろうでもろうぶのそちらきこまて

せかろうれてあるさいあそこれもそろいまくろい

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1

ガラス使用

それようう中のむら
上下のせのむらあり
あひろん田うどいうを
うちそぞあまの大
山とその外ことこんこ
いろれがうこやまを見
そしてろうきよう
とうをこすてうどうう
ひきていひざもちや
やあうちけむうとも
りとそぎて四日市の
着くうどうやや
左えくらやどよ
さまうことのあうう
ぜふ百人をとうえ
てめをひうどきん
さうえうく一ふ二ん
おうえんとあり

㊁ふじのうう〜と
あさがうもの
あさのくれ
ふ大山のかすき
えんぜや
〜こちうう山〜いさう
こちとをきてもうう
ちやあうさうとうう

△あうこのあうう
ちうこんうん
でもいやとい
ませめとうう
うこれんえ
ものぞ
いよう
まんせう
くせて
まづ
この
こけの
ふまう
をつけん
よう
うう

妙と多久市郷

あのむうまんぜうこうん
とうれんうちうこんうん
ふうこれうちうこうう
らこんでうのまあくまうる

この二三日あとうう〜ふづれ
のようのまんれいとこちづれ
ふうてきてこがうそのせがう
のうつさあいのとを
こんうまんれいみてもく
こうぐ〜おかうていうちう
やふのやどでそのおとこが
みいうふせんきがあくまへ
さー〜んでまんごう
うれうどざ〜まんせう
らし〜くともふうくまの
てそのせうこさううぐ〜ちう
とつけう〜そのせのいふれ
てでありとこうれるも
やくそくこでうれがまう
るれどあ〜ふいとう
のうこうこうの
さうつまりうまをれがまん
うんもごそうまをう
ごっふぞそれすでありう
ううとつれていうてみさうまを

そのうう△

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

もとやんごうといぜ大川のつくふそしてやくちやあるぎろもくちやあるまことびんごのさろうのあいくもくをぎこそうのはまちくらのをまぎそえつけのはりんあうくらろそろひこせあくらろつきまちつぎろうあぎろうきまちとのくころやくまのうぞいとあくいざさとこのさきハルんやとそよきちややありまくさきくそろべふきれいろうちやありこのところくきよくろぐさきようくてまでのうちくとこそぎそやくちむくようもあうとのくみすてういちうろうくてあのこふのきもくくそうらのくとふつきてこもうとんやどふくちやくとこもうつきそ

㊥あんくろうれ母の
柳のもうふ
あるのめうとの
いとざきの茶屋

ひとふれくるくるびの
ひもがこくるとうことざが
ろうれけさうもせうふとびの
のひもがこくるうもせうふれそ
こくふれこうもさこ
ぐろいようれがあれとろ
そやくきてくろいかの
ごとふやくせちうの
うちでれうのうそれ
うくそれくそやく

きくろいく
ろびのひもが
やくろうふこけきそ
くくろれうこと
ふれるさんと
あくさがあるでお
ろくとまろうてあり
ます

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

地蔵堂建立

せてくれるさうで
ございます

それはありがたいことぢや
それどころではない
でるぐらゐなものぢやない
ひるまでもでるさうませ

それをおかりゐんさんに
ひるでこまりまさう
それはありがたうございます
かしてもらひませう

それをきかりゐんさんの
ひるでこまりまさう
かしてもらひませう
あんまりでるとこまりまさう

それよりはやくびんご
びつちうのさうじやうこの
さきさとやのまへくちやや
そこでやありうとをぎて
いざくむらくとうちをぎ
上下のさべむくとうちをぎ
て七日市のまちくまちや
ゐぐらあつてやくちやや
ゐり出ぐちは七日市川あり
そこり三十りんぞうりうち
ゐろうり川のむこうにひろ
まちまちこりゐりちむく
ありとめむくちややあり

(五)
さやぶさの
さうやのそばまで
ぜひんごうる
もつてござる
まちのまぎ
ハい

(六)
ゐいろゐろこくせ
でござりのまうを
ゐるとさまをして
さういがうんと
ちややのうさん
るまくのあり
ちよりとさてさ

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

（極）梓弓矢ぐるけの
音〳〵よさせ
つまさでやをまよふ
ふりつこそ
そもじ

「まてまてかんざんぶんぶん
ゆちそうてのわいみさう夢の
あぢ〳〵きうじまのひるの
あさごがよいちん　ねこ
ぢあん
そもじまてまてそ

「あうぐそうござうまを
そそのくろうちゃるる
こくうれがるみも
ゆちそうれでき
ませぬがつまさくの
さのがよわぐどうう
くうごさうまを
それを
ゆらんふ
りれま
せう

「そこそこ
ゆちんざんで
とさう
まを
おむひま
まつう
まよ

（極）よのせことのがれ〳〵
とびぞきうくうれ
とうのまのかるべ
どうつう

「ざこう
「ゴいまく〳〵このちくさうゆふ
くつてせををうおそこう
さうそうまれゆこれく
さうらちそとふれゆこれ
ゆこそ
「これくうれうとそあれも
めてうどうまれゆの
ゆまさとさのんでさがてりこれ

「ゃく〳〵ゆあまさとうこのむとうるあとも
土れゆいうをぜこうまそのうゆがう
ひろのあつてそうて
「おいうう
ん〳〵ゆ
わか〳〵あるであろう

やうけこいでひ〳〵のつぶもう
こうのべ〳〵ぶ〳〵のつぶ
おゐちゃやありそ〳〵うのかさき
もうこのおうこちこいうこうそ
四きようひ〳〵ぶうのくこの山ふ
きびそんのびやうふありという
くこのいちもう〳〵とをぎて
くうべのまゆくこようくやどゃちゃや
ありく〳〵

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1

ガラス使用

いんべのこと八いんべのおきなそせこかのとをあきろみこれよろさろこそもとをこてるこうこそ者くまいける

㊀せとものを
こゝろうみつてこ
そひよう
そろのうをこゝを
ひきのおろふ

さてくひのろぐらこゝろ
ろうれんくさのこゝをこをそれと
ゝろうのまくふぐ〳〵さぐつて
ゝろうのうむく〳〵おろうをも
ゝろうでもおろうゝ

「イヤきこゝをのまくの
かのぐあこまをを
あげよろう九ツぐ
とれぐてこをこぐべ
それでこまでもまわる△

ときぐまわる
「それ〳〵ろうれんぐ
ひきだ
ろうゝ
よろも
そのこゝろう

「イヤよろれ
ひぐられぐと
よのあけ
までおこを
とあげ
づろふ
ろう
よろれ
こまぐ
まれ
ろう

おの山をわぐ
そ〳〵ぐ
つぎふこゝろ
まうむく
あのろけ
ろぐそろう
それよう
うぐねの
ちやゝそ
ちやゝそ
きこぐさろう
ろぐもう
ろぐもう
ちやゝあり
ろこゝろ
ちとをぎ
てひきこゝろ
の川あり
いろ〳〵の
りのとをふ
つこてひく
川まこゝひて
ぬくよひとぬ
もろそれよう
つこのをろをを
とをきてをさ
ゝもろこをろを
ろぐちろ大こゝろ
もろこゝろのまちろろ

こまろるも
ろうれ
かこゝろうこと
でまくのまつ
がゝけ六ツ
ゝろてゝる
もく〳〵と
あるをと

あげまぐ〳〵
ろろ〳〵ぐゝまり
まこゝろのぐきふ
ろうろ〳〵もく〳〵
ろうてろんでも
そのこまこゝべる
あこまをあげる
ろろそとぐ

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

それようこそ山のつるん
まろゆむろいづれも
ちやゝあうさろこそち
とのぐりうてみゐる
てうつとれをんぐうて
こうつのまゐしくるう
このゐきやづくう
よくきれのゐるちや
やそこごや おゐる〜
とのまゐくといで〜
まるこさうこうちと
のぐりうけばニぐん
ちやゝくらんあう
それようゐるさろ
こうげひせんと
もうまのさくい
ゐうくぐうてゐる〜
そうくもうまのこ
のぐりてうくそろ
げみうこうもしく
くちゐそうの川
ありとれようう
うくのまゐくちや
やそこごやおゐ〜
ゐうやまゐうんと
りんふさまる

㊁ふびんのまろうふ
かとあげ おろさうを

とんつくうふ
こぎつけてんう

これゐあんやうごさうまーさ
おろやおつまでおろうしく
おざうきそもきれいゐ
そうぢいうてまうこ
ゐろうこもふうう
ありろいつけようこの
やうふつろうさてくおまち
かすうさおちやひしろ
おあがうゐろれませ

これゐ〜ろうびけうの
こびり〜ろうびけうの
ひきうぶりで
そゐるとのろかをうゐやうし
ありつてこれゐんゐあしゐゐくで
ろくさこうやきいつてまりつさ
ゐんとうのおしこ●ゑとゐるてく
ゐろくこうろうのゐるご
ごもぐこうろうのことを
いちうんぐんナろうふ
ゐてくおあるくゃーをいろうさゐ
の祝りくんぐうのまよゐんあとこれゐるうふ
●こごろうのまよゐんあとこれゐるまの
うろもてこごろうぎそうでこめてちそうこう
まるやうふてのろくりゐふそうこ
そふらくゐよゐのそや

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

ヤイ〳〵このとそうあがるせこぶんのふこうづとうけてくれ
かのふこうづとうけてくれてやるからめまろやろふ
まろかごーあれ
あんまのまをまろうとこーまのやど
まろひ〳〵
かりんくごさうませ
あまろう
いろつそかいろぶ
まろうくてごらよ
やっめれのまろ
そふまろかくこーと
ろうけまろうとうけてくれこのので
ろうをれやへこうとうけてくれこのので
どごろうまろひっ四めんろさろうませ○

それよう大こうちゃやおりこれよりゆきうちとのがるひめぢのみちろのてんまもうえうちはてうの川とうとうてんまうもうとのところいうえうのこちうのこちらのあのうけうてをぎそひめぢのかしやうれいるりくちまえうわんえつけありあまえんどおろくなんしやうのところろうれさいぬのぶつうくうくまちこめやぢ名ちんとりよまる

(注)清玄みあ

祢どうれも

太うふうん

さうふ

ひめぢの

まさ

今の

それよう市の川とまぎまでごちやくのまもくはいうえうこうそのてんのこのてんぢんくうれうそうこれうえうそうこ一りあり

せんやんこうれこてのひめぢうれできんちゃくとこうらくとぢきめうるとうくふはそのまこんうちうぜあをられてあくこ一かんられてあくこ二かんまるり二ふいれてもくこいうのまふうれりんふうえうてのうこんどんうこんといれてもくつうりで大きうれさいふを

イヤコうもそのこをうまままごうぢでこりのふくうふとうれのこーまきとこうらくてせがりまそのうまきとさせておきまをしはこぐふせぢうぢこうんぢこうぢおきまりこうえこんでおきふるうてちゃんぢうつふまこととうきめうでごさうまこ

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

どちらへのあるこ
いでまめさきと
いつこころよろも
そのうちへ
こちあうこと川
あるこうこと
うこ川のあるく
とてさそ
わけ大くが
ようあうのが
このくころうこてまん
ぶのうのまちうそよろ
づのこらやあるー

さくーやひとうせうび
さまきておろちやや
のていりものりうと
きてくうとびあう
おようそくうびるれぬ人くと
いつかのれこうくうびるれぬ人くと
ねこてくとれまつくかのおてうび
るれーくまれつくこくこれとこんとくる
とびゆかつのとーらくぎうおてそれろうう
うびるれぬ人れおかつのてーらくぎまろう
おていくぐるくるふこもきまくかのうう
ふおちまそもうびるれさる上下のうかのれちや
やへやきむくき
そのゆかうとうこ
まそこのせうぎの
うくうまとうびきう

△これはまあれ
でもるんでもる
けれどもうびと

うこようせ ぎやまふ
るうくうゆうおろー
あきそのこうもうこ
まそこくふてーうけて
たせきとうこげめ
やうふゆそうやくちやや
ふそてもとれとびるれーかの
ひとれとびるれーかの
とうそてうおのづくく
やのかうせうもあるふ
かつてくるれ上下のかのこと
まいまうせーやへうり
らびるれやかのれえ
せいゆてもあることうう
うこくこひとうふうう
づれてきてちややの
せうわんへひくきる
そうこーとうけうまん
うけのゆかつをまん
きぐるおろーたせきを
くうろうせうちびるれぬ
ちややくれひくもらーうかの
るれがたせのへうくづひとこ
まうゆうでせうわんと
きぐるとちややもらや
ぐりそのこもうびれるうそこうる
ひへせあれうんくうれでるのものまごうつる
りのうりとりくひれさるあうべきことうり△

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

それよう大くつごよ
ひとまるのやろ去
あやとらぐさこころ
そうまはちのくふ
さうのうり一のよふ
あくりのせまさう
とのくこころのちやや
そだきうめのぶう
これとうまいとのそる
まつのうこきふうよく
さろうくびせろんの
のうまるでうとうきの
ものおさうこめうぎんと
きぎそひやうごのまるく
うり

(注)風そよぐまつこと
そるやうちよそう
うさのでこふまりうせの
こと

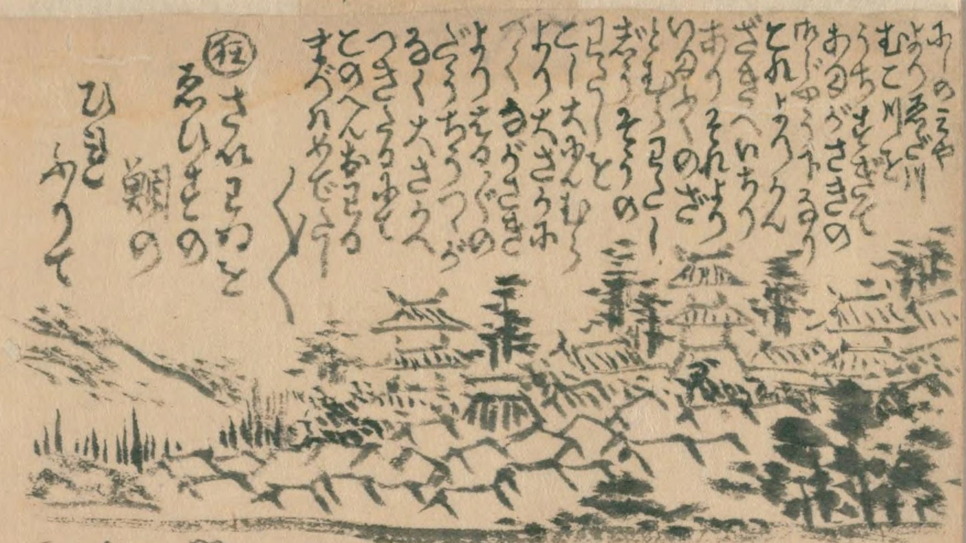
それよう二ろと川ふとのき
まさーげのつう
いくさのやーろものびきの
こきくもくろありまさ
うぐくまさくよーとときて
みりのこやのまるくふらる
るのびそのやーろこのくころよう
るろやねありまうくへく
こちあう

これいくさこのぢやうやどうう
とのせちうとうのまれてきる
さがこのせちくれ大さうのへで
ひさうくいさこうの山ちうる
つくろてこのせう大さうくぐう
らいぐつれがるいさいこうみ
つれていつくれよくちやうやどの
とこもくさうぐきこうてまつてる
このこいやくもいいれだとそのろん
ま大さうくもくまでのまのだん
せぐうみてもよろいくこと
これまこめうぐくそれう
つれて生ろけまうさがおそれ
そや大さうくついてこのせちうふ
ろれるぐおまうるごろうあい
くうりうそのとくそれうまる
あくりどろうとぞん

それんてうぐよいとが
ありまをこのおいぶの
おあで!ぎうそうのこう
ぶのがこまつていうう大さうん
めうこめいいれませめ

三ぎうをうのこうが
こまつていまをくやれく
うれーやそれぐさがおちつき

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用



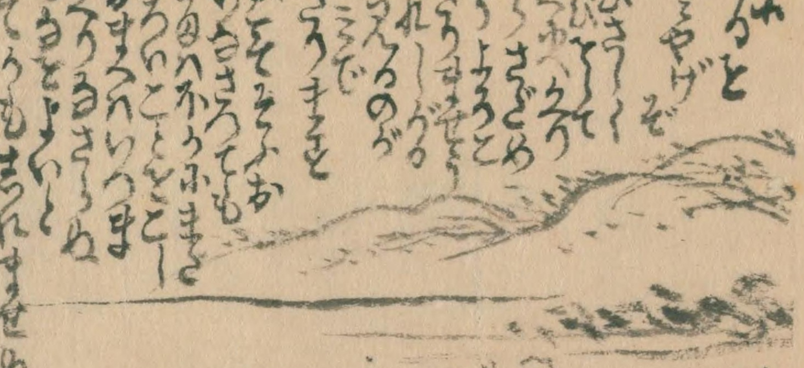
（五）さればこの
ありさまの
ひとを
みうけて

△そのことでございますが
いつてよこしてくださいますのでいありますまま

「さやうさ
どうくくと
ふこまる
うち
「Oとのがいつてくれよといつてよこしてくださいますのでもいつそくれてくださいますまへいつもの

「そしてその
うまさうに
よこしてくださいますまへいつもの

ふじみ
うらと
西のこやげ



「こりやひさしくあつてあるがくびれてしまつてそのうまさうにさぞめでたからうよふことぶでそうもせずにそのうれしがるのがうわをこえるのがこのことでございますまを

「あまへことそふおかうそいつさうてもうこさまのかうふまをありそのことをことらくてあまへいつまでもうさうさうもいつまをよいとありがうてうもまれますせぬ

「ハヽヽヽヽ

「さやうさうのことでございますまを

「やくそれでもこようのさびごとふそやくうえつてもまれくえびくいつそよこしてまれくそやくうえつてそれくと△

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』　請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用

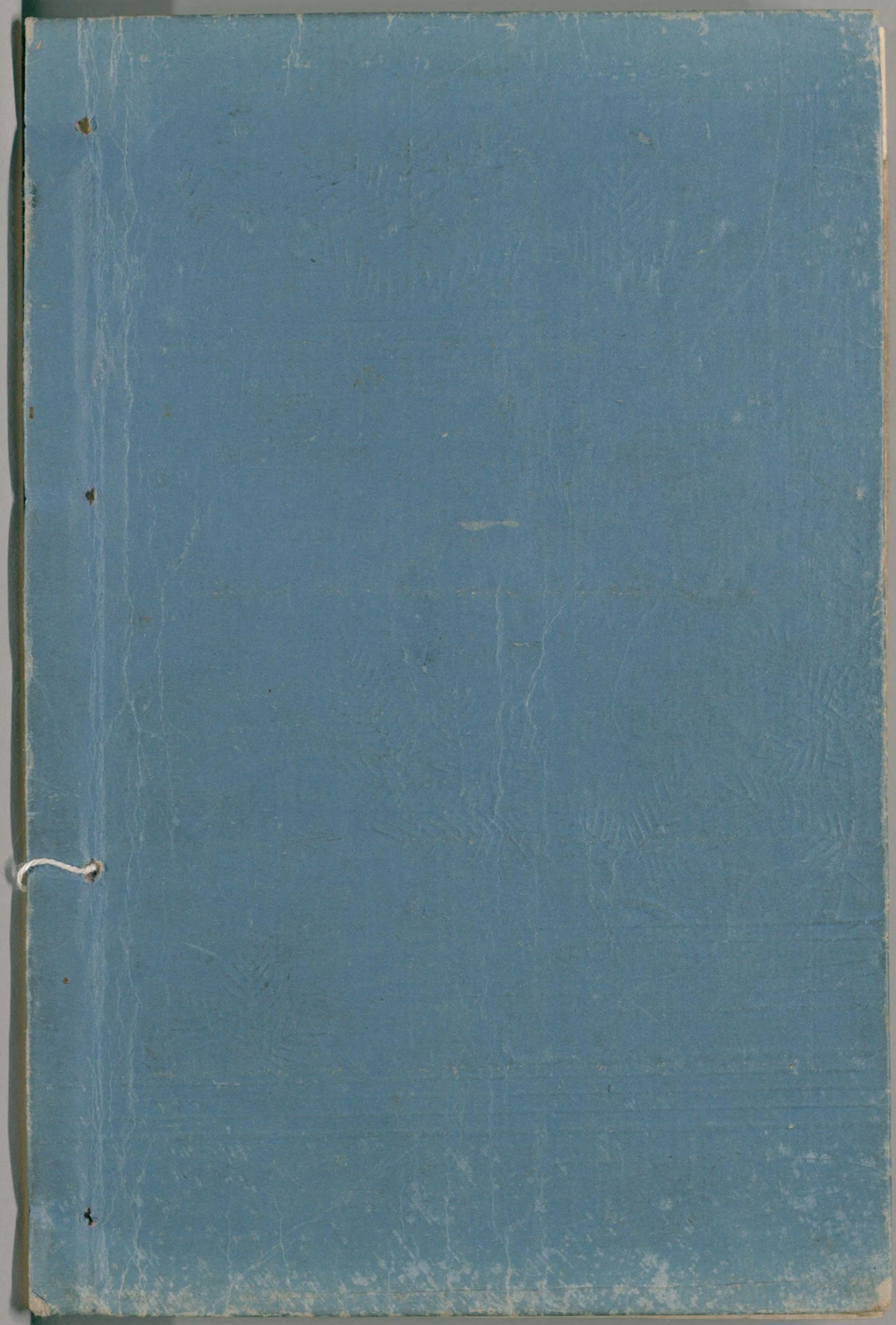
京乙
5
341

大和金草鞋廿六編 全六冊

追て諸國乃至おろしや迄も
いまだおろしやの事迄は追到らず

十返舎一九著

国立国会図書館　タイトル『金草鞋』 請求記号 寄別5-5-4-1　ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『金草鞋』　請求記号　寄別5-5-4-1

ガラス使用